

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。ご意見をお聞かせください。



しおかぜ

日本共産党浦安市東部後援会
News

第85号

2022年 3月31日
編集責任者 元木計文
047-355-8526
部内資料

ウクライナ侵略をやめろ ロシアは撤退せよ！



【3月21日 抗議集会(渋谷区)】



【2月26日 抗議集会(渋谷区)】

広がり続く 「反戦」の声



「ウクライナから撤退せよ」とロシア大使館近くで抗議する総がかり行動実行委員会の人たち = 4日
【しんぶん赤旗 3月5日 版より】

ロシア軍の侵攻開始以降、日本全国各地でも撤退を求めるデモやパレード、スタンディングなど大小さまざまな規模の取り組みが続いています。中高生による抗議集会や、日本在住外国人が呼びかけたパレードも。世代も国籍も多様な人々が反戦を訴えています。

春分の日(21日)、東京都渋谷区であった抗議集会には2500人が参加しました。作家の澤地久枝さんらがステージでメッセージを伝えた後、「NO WAR」などのカードを掲げた参加者が、休日の繁華街をデモ行進しました。

同日、平和問題を学ぶ東京高校生平和ゼミナールと首都圏の高校生らは港区のロシア大使館前で抗議集会。「なぜウクライナの人たちが悲しまなければならないのか。私たちは抗議する」などと声を上げました。18日には愛知県の中高生200人以上が名古屋市の中心街をパレードしました。

侵攻開始直後の2月26日、JR渋谷駅前では在住ウクライナ人有志が呼びかけた抗議集会にはおとなから子どもまで多数が参加。ネットなどで知った日本人も、ウクライナ国旗にちなんだ青と黄色のカードを掲げるなどして集まりました。時間とともに群衆は膨らみ、一時は2000人が交差点の一角を埋めました。

【しんぶん赤旗 3月24日 版より】



読者の ひろば

■ ■ 我が家にコロナが来た! ■ ■

【市川市在住の A さん談】

2月某日 小学生が発熱! 学校で感染が広がっていると聞いていたが…。発熱外来の病院を探し連絡するが、なかなか受け入れてくれるところがない。ようやく見つけて連れて行くと検査の結果陽性とのこと。家中消毒する。そして家族 5 人は全員自宅待機となる。共働きの両親は仕事の連絡にもあたふたする。当の小学生は部屋に隔離され心細そうにしく泣いている。

3日後 母と兄が体調不良。前回より病院探しは難航し時間がかかる。やっと受診し陽性が確認される。感染が小学生とあっては、完全隔離はできないから家族には移ってしまうと実感。大人はワクチンを 2 回接種していたのに。毎日の消毒がずっと続く。幸い祖母をはじめ周囲が食べるものは届けてくれた。(5 人分、これも大変な話だ)



4日後 父が千葉県ホームページからサービスに関するものを探し電話する。そこで①濃厚接触者には検査キットの配布がない。②具合が悪ければ病院を探して行く。③症状がなく7日を過ぎたら外出できる。学校や職場に復帰できる(医者や保健所でなく各自で判断する!)とわかる。このころ? 玄関先に宛名も差出人の名もない袋が置いてあった。開けるとパルスオキシメーターだった。

6日後 父が発熱。これが大変だった! 休日なので病院で受け入れてもらえない。相談センターに100回近く(!)電話をかけたが通じない。翌日ようやく病院を探して受診はしたが、検査もされず、みなし陽性と診断。(これでいいの?) 弟のみ元気だが濃厚接触者で症状のないものは検査できないと言われてしまう。

9日後 やっと保健所から「どんな具合ですか?」と電話が来て、配食サービス品も届く。(遅すぎる!)

19日後 ようやく全員が「症状がなくなって7日」が過ぎ元の生活に戻る。重症化しなかったのが幸いだ。

コロナの流行からもうすでに3年目なのにこの対応はどういうことか。第6波でも保健所は機能せず放置される。特にインターネットを使えない人、一人暮らしの人、高齢者は重症化したら深刻だ。死者が毎日少なからず出ているのもよくわかる話だ。

核を捨てよ

村上 ますえ

柳条湖の列車転覆 張作霖爆殺と
日中戦争の起こりを読んでいた
帝国の果てしない野望と謀略
そのため息の中に飛び込んだ
ロシアのウクライナ侵攻
かつてヒトラーも同じだった
が

いま私たちは現在進行形で侵略のさまを見る
国境から連なるバカでかい装甲車の列
見えない彼方から
空から発射されるミサイルの砲弾
崩れ落ちていく建物
逃げ惑い傷ついた人たち
赤ちゃんまでが
わずかな荷物を引っ張って脱出する人の列
けなげにも歩き続ける子ども
我が家のリビングから眺めるには悲しすぎる

ニュースは続く
原子力発電所制圧

「核」
プーチンも伝家の宝刀は「核」だった

「核を捨てよ」
「すべての武器を捨てよ」

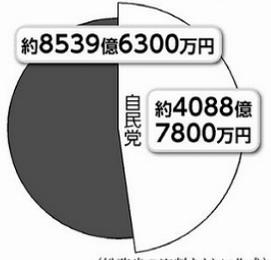
武器がなければ悲惨な戦争はおこらない
「敵基地攻撃」の論議もいらぬ
ましてや「日米核シエアリング」の必要もない



《 ひとつこと言わせて No.7 》
【 政党助成金おかしくありませんか？ 】

日本維新の会は、「身を切る改革」と称して文書費の全額
寄付を声高に発言していますが、それよりも国民に「自己
責任論」を押し付け支持もしていない政党に、国民一人あ
たり(赤ちゃんからお年寄り迄)250円、年間320億円も
“強制的に献金”させられるシステムは絶対におかしい!?
許せない!!

2021年までに交付された政党助成金



【しんぶん赤旗 2022.1.27版より】

政治は金がかかると、自らが招いた企業献金汚職を払拭する為と称して詭弁を使い、議員の数に物を言わせて導入。この27年間、総額約8540億円の原資は全て税金です。コロナ禍で倒産・失業・自殺者が多数出ています。このお金が、国民の医療・教育・暮らし優先の支援に振り向けられたなら、どんなに苦しい思いをせずになれるか、政権党の方々は分かっていない!

私腹を肥やす事に邁進し、国民には自己責任論を押し付け、全てはあなたが悪いと.....

すべては一握りの富裕層、大企業の利益優先の為の政治が進められています。私達の税金が、この様な人達の私腹を肥やすために使われのは許せません! 「政党助成金」は廃止されるべきです。国民の命、暮らしが大切にされる政治に変える為に、もっと私達が賢くなって、庶民のための政治をしてくれる人を国会に送らなければと思います。(合田)



◆ 3.11 追悼うらやす

3月11日、浦安駅ロータリー前に30名近くの人たちが「花」を持ち、1時間にわたり「福島を忘れるな!」「原発反対!」「戦争反対!ロシアは撤退しろ!」のリレートークと2回の黙とう。通りかかった方も一緒に黙とうしてくれました。(松木)



参院選を前に政治を語り合う集い

対談

4.17(日)



【開場 13時30分、開会 14時】

会場

《 Wave 101大ホール 》

(参加無料)

■ 対談 ■

【ジャーナリスト デモクラシータイムズ】
山田厚史さん

【日本共産党 参院選千葉選挙区予定候補】
さいとう和子

■主催 日本共産党浦安市委員会
日本共産党浦安市後援会

◆連絡先 元木 355-8526
松木 354-9212